

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月22日更新

事務事業名		総合計画策定事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	課長名	大茂 竜二	
	施策	25 行政改革の推進				所属課	企画課	担当者名	牧野 淳一	
	施策の柱	84 計画的な施策・事業の推進				所属班	企画広報班	(内線)	1252	
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11038	根拠法令	合志市自治基本条例第15条		成果優先度評価結果	：
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 ~ 27 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市の将来像、基本理念を示す基本構想、中期的な視野に立った基本計画で構成する「合志市総合計画」を策定する事業であり、平成20年度に策定した合志市総合計画(計画期間：H20～H27)の期間終了に伴い、次期計画を策定する。策定については、行政評価システムと連動した計画策定とする。(自治基本条例第23条) 策定にあたっては、行政経営推進部会、政策推進本部会議等で検討し議会の議決を得ることとなる。議決後は、総合計画冊子の作成及び啓発のための看板設置及び職員等へのピンバッジの購入を行う。
【業務の流れ】	①将来像、基本方針(政策)、施策の組み立て、基本計画に示す施策の策定。②施策の成果を行政評価で測るための市民意識調査の実施・成果指標の設定。③庁内各階層ごとの会議による討議、検討。④合志市総合政策審議会への諮問(→答申)。⑤パブリックコメントの実施。⑥基本構想→議会議決。⑦計画の決定。⑧啓発用看板設置、ピンバッジの購入に係る契約事務。
【主な予算費目】	時間外勤務手当：325,000円 一般事務費(ピンバッジ購入)：400,000円 印刷製本費(冊子、政策等)：3,186,000円 工事請負費(看板設置)：706,000円 合計4,617,000円
【意見や要望】	議会と総合政策審議会からは、行政評価システムによる総合計画の進行管理を行っており、評価指数の見直しなどによる事業成果への期待が寄せられている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	総合計画策定に伴う庁内検討を行った。課長級の行政経営推進部会を1回及び部長級以上の政策推進本部会議に2回諮り検討を行った。また、総合政策審議会に諮問し、12月議会に上程した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 策定後の着実な実施と表性評価を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 庁内内部会議開催数 イ: 審議会への諮問回数	予算の主な増減の理由 総合計画策定済による減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 総合計画(基本構想、基本計画、実施計画)	(単位) 件 ア: 計画数 イ: 計画数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 計画的に実施されている	(単位) 件 ア: 計画数 イ: 計画数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 総合計画に掲げる将来都市像及び横断的課題を実現するための基本方針である施策数を成果指標に設定した。		総トータルコスト 全体計画 ～27年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 回		0	6	15	5				
	イ 回		0	0	1	1				
② 対象指標	ア 件		0	1	1	1				
	イ 件									
③ 成果指標	ア 件		0	0	1	1				
	イ 件									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円		1,555	4,617	2,566				
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0					
人件費	正規職員従事人数	人	1	14	0	13				
	延べ業務時間	時間	120	1,976	0	948				
(B) 人件費計	千円	478	7,872	0	3,519					
トータルコスト(A)+(B)	千円	478	9,427	4,617	6,085					

事務事業名	総合計画策定事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 総合計画策定を終えたため目標は達成できた。
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 総合計画の策定を終えたため本事業は終了する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 総合計画の策定を終えたため本事業は終了するため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 自治基本条例に基づく策定のため他の手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 自治基本条例に基づく策定のため事業費の削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民に対しての総合計画であるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の将来のまちづくりを示すための総合計画策定であるため行政が行う必要があり、市民の意見も反映させているため役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

総合計画策定は当初9月議会に上程する予定であったが、調整の遅れから12月議会での上程となったことが反省点ではあるが、その分中身の検討が十分に行われたと考えられる点は評価できる。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input checked="" type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今期の総合計画策定は休止となるが、4年後の第2期基本計画の策定に向けて事務を勧める必要がある。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						